

## 令和6年度精華町子どもの読書環境づくり推進協議会（第2回会議）

### 議事摘録

#### ■日時

令和6年11月15日（金） 午後1時30分から午後2時50分まで

#### ■場所

精華町立図書館1階集会室

#### ■出席者

<委員>

小寺 美佐江 委員（元宇治市東宇治図書館館長）

播磨 富士子 委員（社会教育委員）

重村 直志 委員（町内小・中学校校長代表）

十河 三奈子 委員（町内幼稚園園長代表）

市橋 純子 委員（教育部教育支援室指導主事）

上野 泰弘 委員（精華町立図書館長）

石崎 勝已 委員（健康福祉環境部子育て支援課長）

※田島 寛 委員（精華町PTA連絡協議会代表）は欠席

<事務局>

学校教育課 田原課長、森山主任主査

生涯学習課 小笠原課長、河西課長補佐、奈良主査

#### ■内容

1. 開会（司会進行：小笠原課長）
2. 会長あいさつ
3. 協議事項

「子どもの読書環境整備5か年計画（第五次）（案）」について

(1) 現在までの計画策定経過（説明：事務局）

第1回協議会での意見や、「地域・家庭部会」「学校図書部会」の各所属団体から聴取した第四次計画の成果や課題、次期計画に盛り込むべきと考える内容、国や府の計画の動向に基づき事務局で計画案を作成した。

(2) 変更点（説明：事務局（学校教育課・生涯学習課））【資料2】【資料3】に基づき説明】

○主な変更点

基本的に、国の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」において、「地域」「学校」等が中心となって取り組む必要があるとして示されている推進方策に準じ、本町の実情をふまえた追加方策となっており、次のとおりである。

- 1 多様な子どもたちの読書機会の確保
  - ・ 多様な児童生徒の可能性を引き出す蔵書の充実
  - ・ 障害を持つ子どもに沿ったサービスの展開（バリアフリー図書の定期的・継続的な収集、障害を持つ子どもや家族、関係者など当事者の意見の反映、サピエ図書館によるデイジー図書などの活用）
  - ・ 多くの子どもが絵本に出会うきっかけとなるよう、妊婦や保護者に向けた絵本紹介など、大人への啓発
- 2 デジタル社会に対応した読書環境の充実
  - ・ 図書館システムの貸出記録機能の活用による読書習慣の醸成
  - ・ オンラインによる読書会
  - ・ デジタルアーカイブの活用検討
  - ・ 図書館システムにおけるICT導入に関する、学校教育課との具体的情報収集
- 3 子どもの視点
  - ・ 児童生徒のニーズの選書への反映
  - ・ 子どもの意見を踏まえた取組の実施、企画段階からの子どもの参画促進
- 4 資料の計画的整備
  - ・ 保護者や園児との対話を通じた読書環境の把握

- ・ 子どもが郷土資料にアクセスしやすい環境づくり

## 5 図書館および学校図書館の運営充実

### <図書館>

- ・ 研修などを通じた図書館職員の児童サービスの専門性の向上

### <学校>

- ・ 移行期（入学時など）のオリエンテーションの実施

## 6 団体の連携促進

- ・ 公立・私立の別や、所管を超えた協力・連携方法の検討

### ○その他（上記主な変更点以外）

- ・ 学校図書館の機能としての「学習情報センター」の記載を、「学習センター」「情報センター」と分けて記載
- ・ 学校図書館利用について「児童生徒の居場所となる」の表記を追加
- ・ 学校図書館司書配置の目的の明確化
- ・ 放課後児童クラブ開設時間中の移動図書館車の利用を含む図書館の利用の検討 等

### (3) 計画策定までの流れ（説明：事務局）【資料4に基づき説明】

令和6年11月26日 教育委員会会議で報告

令和6年12月10日 精華町議会（民生教育常任委員会）で報告

令和6年12月20日～令和7年1月29日 パブリックコメント実施

令和7年2月14日 第3回協議会

令和7年2月14日以降 社会教育委員定例会、教育委員会会議で報告

令和7年3月10日 精華町議会（民生教育常任委員会）で報告

### (4) 意見交換

#### (小寺会長)

事務局からの報告があったことについて、文言上のことや、不明点等お気づきの点等あればお願いしたい。

#### (市橋委員)

- ・ 【資料2】P13の「障害をもつ子ども」について、最近は「障害をもつ」ではなく「障害がある」という表現が用いられており、これが適切

と考える。

- ・ また、「取り組み」の表記については、府の場合は、熟語にした場合は「取組」としている。

(播磨副会長)

- ・ 【資料2】P6の「精読」については、辞書では「細かいところまで読む」とか「熟読する」といった意味で載っている。「読書の時間」が適切ではないか。

(市橋委員)

- ・ 今おっしゃられたように「読み聞かせとともに読書の時間を設ける」にするのはどうか。
- ・ 【資料2】P4以降の成果と課題の記載について、成果の部分は進行形から「～しました」等過去形に統一してはどうか。
- ・ 【資料2】P10の「配架」「配置」という文言については、「配架」に統一してはどうか。
- ・ 【資料2】P13の、「障害の有無に関わらず全ての児童に向け」の「児童」については、本計画本文中の「こども」との整合性をとってはどうか。
- ・ 小学校では最近「ビブリオバトル」などもよく取り組まれている。そのほか、「アニメーション」「パネルシアター」「ストーリーテリング」など、今まで積み上げてきた手法や今後盛んになっていくであろう手法なども、どこかに掲載しても良いのではと考える。本文と用語解説に入れるか、用語解説を「用語解説と具体的な活動例」として紹介するのも良いのでは。

(小寺会長)

- ・ 【資料2】P13の、「図書館システムでの貸出等記録機能の活用による読書習慣の醸成促進」について、例えば、貸出記録機能は読書手帳と両方使いできるなど、達成できるサービス内容を詳しく書いてはどうか。

(市橋委員)

- ・ 今後、本協議会の部会は毎年開催されるのか。

(事務局：生涯学習課)

- ・ 例年、毎年開催しており、今後も毎年開催する予定である。

(小寺会長)

- ・ 【資料2】P14の、自習可能席について、近隣図書館ではなかなかできないことに取り組まれている。読書活動推進および不登校の子どもの居場所にもなり、良い点だと考える。【資料3】4.の主な変更点に記載してはどうか。

(事務局：生涯学習課)

- ・ 自習可能席は実際に多くの方に喜んで利用していただいております、仰るようにPRとして記載していきたい。

(小寺会長)

- ・ 【資料2】P10の、学校図書館の開館時間拡大も、学校図書館司書の人数の問題や先生方の対応など難しいところがあると思うが、これを検討の柱にしてもらっているのは大切なことと思う。どのような考え方でこの文章が入ったのか、今後の使われ方も含め質問したい。

(事務局：学校教育課)

- ・ 議会からも学校図書館の開館時間の拡大や、子どもたちの居場所としての利用について意見があったところである。学校司書やボランティアなどの人員配置や、休み時間・放課後などの限られた時間での開館時間についていかに有意義に利用してもらえるかの検討を課題として捉えている。新年度に向け、今よりも開設時間を広げられるよう模索していきたい。

(小寺会長)

- ・ 子どもにとって一番身近なのは校内の図書館なので、検討して頂いているのは有難い。主な変更点に記載するか、どこまでアピールするかはお任せする。

(上野委員)

- ・ 今小寺会長が仰った点（学校図書館の開館時間の拡大）については前向きに検討されているところである。その点については、文言は違うが第

四次計画にも記載している。より具体的になっていくというはあるが、今回ここに記載しているのはあくまで大きな変更点であり、前からの継続の内容については誌面の問題などの理由で入れていない。自習可能席については前になかった計画なので記載していく必要があると考えるが、もう1点については前からの継続課題であるのでご理解頂ければ有難い。

(上野委員)

- ・ 【資料2】P13の、「郷土資料にアクセスしやすい環境づくり」について、アクセスという言葉は、会場へのアクセスやインターネット検索のアクセスで用いられるものと思う。「閲覧しやすい」「検索しやすい」という表現の方がふさわしいのでは。

(十河委員)

- ・ 本計画を次に活かして子どもがいろんな本を楽しむことができるために、実際の動きとして自分ができることは何かと考える。

(播磨副会長)

- ・ 子育て支援センターで妊婦に向けてお話をしていると聞いて驚いている。まずは保護者が楽しみ、乳幼児、小学生、中学生へと、流れを途切らせないように、周りの大人が手だてをしていくことが必要と考える。

(重村委員)

- ・ 先ほど、学校図書館の開館時間についての話があったが、子どもがいる時間は大体開いている。

(市橋委員)

- ・ (先ほどの話は) 中学校についてだと思う。中学校は、中間休みのような長い休み時間がない。お昼は給食時間はあるが、ほかに図書室利用ができるような時間がない。

(重村委員)

- ・ 小学校によっては、中間・昼休みは図書室は開いており、図書委員会の子どもももいてくれている。

(事務局：学校教育課)

- ・ 中学校は部活もあり、放課後の利用が難しい生徒もいる。

(重村委員)

- ・ 小学校では、雨の日にも図書室に子どもたちが多数いる。

(石崎委員)

- ・ 放課後児童クラブなどの関係で挙げていた意見についても検討頂けて有難い。

(小寺会長)

- ・ 先ほど事務局との話の中で、第五次計画では、本文にユニバーサルデザインフォントを使用するなど、さまざまな方に読んでもらいやすい工夫をしていることなどを伺った。

(事務局)

- ・ 今あげて頂いた点のほか、目次をつけるなど、体裁面で、さまざまな方に読んでいただきやすい工夫もした。

(小寺会長)

- ・ 最近読んだ本の中で、目の見えない方がICTを使いこなして生活しておられるという内容があった。文章を読み上げるソフトを用いると、好きな本や取扱説明書等も音声で読み上げてもらえるそうである。障害者が利用できるサービスの工夫が進んでいる。本計画のパブリックコメント実施の際も、このように文章を機器に取り込みやすい形で掲載してもらえたら目の見えない方にとって良いと考える。ご検討頂ければと思う。

(事務局)

- ・ パブリックコメントをホームページに掲載する際、読み上げが可能なテキストの形で公開する予定である。
- ・ 本日頂いたご意見をまとめ皆様にはまたご確認をお願いしたい。

#### 4. 閉会 (小笠原課長)

貴重なご意見を賜りありがとうございました。本日の意見を踏まえ計画案に修正を加えてパブリックコメントを実施し、そこで出たご意見をもとに第3回協議会を開催させて頂き最終決定という流れで進めていきたい。ご多用のことと思うが引き続きよろしくお願ひしたい。

以上